

市民カメラマンフォトポ

今号は、市民カメラマンの大澤里美さんの写真を紹介します。市ウェブサイトでは、たくさん
さんの写真を公開しています。ぜひ、ご覧ください。



5/16 オオキンケイギクの抜き取りと染物体験

85 名が参加しました。まず、「オオキンケイギクは外来種で日本在来の植物に悪影響を与える植物である」という説明を受けて、抜き取りを始めました。花びらは染物に使うため、別の入れ物へ。1 時間ほどでたくさん抜き取りができました。次に、染物に使うハンカチに輪ゴムを巻き付け準備をします。30 分位で染め上がり、輪ゴムを外して出来上がりを楽しみました。皆さんきれいに出来て良かったですね。

5/24 「いつものもしも CARAVAN」を開催

市民公園一帯で、防災をテーマにしたイベント「いつものもしも CARAVAN」が、5 月 23 日と 24 日の 2 日間開催されました。約 13,600 人が来場し、火災時の煙体験や、消防服の着用体験などを行いました。

蘇原花園町の今尾ゆかりさんは、「消防団の活動などを知ることができてよかったです」と、笑顔で話しました。



6/7 「心臓疾患予防」をテーマに、健康フェスティバルを開催

中央ライフデザインセンターとプリニーの市民会館で、健康フェスティバルを開催。550 人が来場し、医師による健康相談や、自身の健康状態を把握するための各種検査、最新機器を使用した姿勢チェックなどを行いました。

姿勢チェックを行った後藤卓也さんは、「今後は、姿勢を意識して生活していきたいと思います」と、気を引き締めました。

6/15 市民一丸となって応援！パブリックビューイング

FIFA ワールドカップ 2026 の日本代表に、鷺沼中学校出身の鈴木淳之介選手が選出。市からエールを送るため、市役所の市民交流スペースで、パブリックビューイングを行いました。

蘇原東栄町の渡辺さん親子は、日本対オランダの試合を観戦。「格上のオランダに、勝点を取れてよかったです。日本代表の活躍が楽しみです」と、エールを送りました。



Q どんな仕事をしているの？

子どもたちがすくすくと育つために、身の回りのサポートをしながら、一緒に楽しく遊んでいます。日々の保育内容を考え、子どもの成長を間近で支えることを通して、私も一緒に成長することができています。

Q この仕事のやりがい？

「ごめんね」と言えたときや、おむつが外れたときなど、私たちのサポートが、子どもたちの成長につながったと実感できる瞬間が、1 番のやりがいです。

Q 大切にしていることは？

子どもたちの自信につなげるため、結果だけでなく、がんばった過程も認め、たくさん褒めることを大切にしています。



保育士

中屋保育所

新井 詩野 さん



🏆 ホッケー U18 アジアカップで準優勝

はしもと なな
橋本 奈々さん

岐阜市在住で、岐阜各務野高校に通う 3 年生。休みの日は、妹や弟とお出かけしています。

世界に通用するドリブラーに

川崎重工ホッケースタジアムで開催された「ホッケー男女 U18 アジアカップ」に、日本代表の副主将として橋本奈々さんが出場しました。

決勝まで進出しましたが、惜しくも準優勝。「最後まで走っていたけど、勝つことができなかったです」と、悔しさをにじませました。

小学 2 年生で、ホッケーを始めた橋本さん。それまではピアノなど、個人で取り組むものしか経験がなかったため、仲間意識を築き、互いを高め合えるホッケーの楽しさに気づきました。競技を楽しむだけでなく、練習中に見つけた課題は、絶対に試合には持ち込まないことを徹底。その結果、各年代の日本代表に選出されるなど、着実に実力を付けてきました。

橋本さんは、「自分たちがチームを引っ張って、優勝に導かなければならない」という思いで、今大会に臨みました。予選リーグでは、なかなか自分の思うようなプレーができず、日に日に焦りが強くなりました。自分の感覚を取り戻すため、「家でもボールを触り、嫌な印象をリセットしました」と、調整を続けました。勝ち進むにつれ、得意なドリブルなど、自分の納得のいくプレーが出せるようになり、チームに貢献することができました。

橋本さんの次なる目標は、オリンピックに出場すること。「新しいことにも積極的にチャレンジして、世界に通用するドリブラーになりたいです」と、さらなる高みを目指して、今日も練習に励みます。